

# Curriculum Vitae

## General Work

2004-2022/Jan

氏名: 稲葉 俊郎 (いなば としろう), M.D. Ph.D.

学位:

M.D. 2004 年 (東京大学医学部医学科)

Ph.D. 2014 年 (東京大学医学系研究科内科学大学院博士課程卒業)

## 職歴

2020-軽井沢病院総合診療科医長 (長野県北佐久郡軽井沢町)

(2021-軽井沢病院副院長)

- ・ 2020-信州大学 社会基盤研究所 特任准教授
- ・ 2020-東京大学先端科学技術研究センター 客員研究員
- ・ 2020- 東北芸術工科大学 客員教授 (山形ビエンナーレ 2020 芸術監督)

2009 -2020 東京大学医学部附属病院 循環器内科 (東京都文京区本郷)

(2014-東京大学医学部附属病院 循環器内科 助教)

2006-2009 財団法人 心臓血管研究所附属病院 (東京都港区六本木)

2004-2006 慈泉会 相澤病院 (長野県松本市)

## 教育歴

2010-2014 東京大学医学系研究科内科学大学院博士課程卒業 (Ph.D.)

1998-2004 東京大学理科Ⅲ類入学 東京大学医学部医学科卒(M.D.)

1995-1997 熊本県立熊本高校卒業

## 学位

肺高血圧症における心機能評価の研究 ー特に強皮症の初期病態の解明

Study of cardiac function in pulmonary hypertension - early pathogenesis of systemic sclerosis

東京大学医学系研究科 内科学専攻 博医第 4257 号 平成 26 年 3 月 24 日

## 受賞

2012 AHA (Los Angeles), Cardiopulmonary, Critical Care, Perioperative and Resuscitation (3CPR) Best Abstract Award.

**Inaba T**, Yao A, Hatano M, Maki H, Imamura T, Kinugawa K, Komuro I. Hemodynamic Characteristics in

Systemic Sclerosis Patients with Various Stages of Pulmonary Arterial Hypertension.

## 医学教科書

- ・循環器内科ポケットバイブル: 中山書店 (2015 年) 分担執筆 担当: 先天性心疾患
- ・研修医・若手 Dr.にエキスパートが伝授する循環器診療のロジック: 南山堂 (2017 年) 分担執筆
- ・病態・治療論 3 循環器疾患看護学テキスト NiCE: 「心臓カテーテルインターベンション」 南江堂 (2019 年)

## 医学教科書 (翻訳)

- ・グロスマン心臓カテーテル検査・造影・治療法 (原書 8 版、2017 年) (原書 7 版、2009 年) (南江堂) 分担翻訳
- ・心臓カテーテルハンドブック (第 3 版、2013 年) (メディカルサイエンスインターナショナル) 分担翻訳

## 一般書 (単著)

- ・稲葉俊郎「いのちを呼びますもの-ひとのこころとからだ」アノニマ・スタジオ (2017 年 12 月 22 日)
- ・稲葉俊郎「ころころするからだ: この世界で生きていくために考える「いのち」のコト」春秋社 (2018 年 9 月 20 日)  
(\*→聖カタリナ大学入試採用 (2021 年度)、びわこ成蹊スポーツ大学入試採用 (2021 年度))
- ・稲葉俊郎「からだとこころの健康学」NHK 出版 (2019 年 9 月 25 日)  
(\*→Z 会中 1 アドバンスト国語試験採用 (2020 年度)、新潟薬科大学 小論文採用 (2021 年度)、鷗友学園女子中学校 国語入試採用 (2021 年度))
- ・稲葉俊郎「いのちはのちのいのちへー新しい医療のかたちー」アノニマ・スタジオ (2020 年 7 月 2 日)

## 一般書 (共著)

- ・無意識の整え方 (ワニブックス、2016 年): 前野隆司 x 稲葉俊郎対談
- ・見えないものに、耳をすますー音楽と医療の対話 (アノニマ・スタジオ、2017 年) 大友良英 x 稲葉俊郎 (SWITCH インタビュー達人達「大友良英 x 稲葉俊郎」(NHK、2017 年 3 月 11 日) 書籍化)

## 一般書（翻訳）

- ・リチャード・ブレナン(著),稲葉俊郎(翻訳・監訳)「身体のデザインに合わせた自然な呼吸法—アレクサンダー・テクニクで息を調律する」(医道の日本社、2018年)(Richard Brennan「How to Breathe: Improve Your Breathing for Health, Happiness and Well-Being」)

## 雑誌連載

- ・Yogini (エイ出版社、2016～2018年)(Vol53-65)
- ・ソトコト (木楽舎、2020年～)「フィロソフィーとしての「いのち」」(Web)

## 雑誌

- ・Be-PAL 2015年12月号 「山岳医療のDrが語る未来医療のありかた」(小学館、2015年)
- ・サンガジャパン Vol.21 特集「輪廻と生命観」(サンガジャパン、2015年)
- ・サンガジャパン Vol.23 特集「この仏教書を読み!!」(サンガジャパン、2016年)
- ・murmur magazine for men 第3号 ロングインタビュー「あたらしい医療うつくしい養生」(エムエム・ブックス、2017年)
- ・Brutus No. 854 人間関係 573 写真／篠山紀信『衝撃の余韻』稲葉俊郎、前川知大 (マガジンハウス、2017年9月1日)
- ・『TISSUE Vol.3』特集：まなざしのいいひと。(2017年11月16日)
- ・「死と輪廻—仏教から死を見つめ直す—」(別冊サンガジャパン Vol.4) (2018年4月25日)
- ・暮らしのおへそ vol.26 (私のカントリー別冊)(主婦と生活社) (2018年8月30日)
- ・月刊『YO-RO-ZU よろず』Vol.16：特集「こころとからだ」：稲葉俊郎『心と体を探求する意味』(2019年1月)
- ・「月刊 観世」檜書店 (令和元年五月号 第八十六巻第五号)「巻頭随筆 能楽と医学と寿福増長」(2019年5月)
- ・『花椿』秋号 (No.824 AUTUMN ISSUE 2019)「Sports are beautiful」：稲葉 俊郎「生命100%の充実から生まれる美」(2019年7月)
- ・「CONTE MAGAZINE」VOL.1 特集：生きるためには、物語が必要です。-「物語」を知るための、9の話- 笑福亭鶴瓶 (落語家),角田光代 (作家),稲葉俊郎 (東京大学循環内科医) ,,野村友里 (料理人) ×UA (音楽家) (2019年11月)
- ・暮らしの手帖 第5世紀3号 (2019年12-2020年1月号)：稲葉 俊郎「生命と暮らし」(2019年11月)
- ・クロワッサン No. 1011 稲葉俊郎「美術館を巡る旅」(2019年12月10日)

- ・「やさしくなりたい 01」(稲葉俊郎「からだの内側に基準をつくる」)(2020年4月5日)
- ・「HERS(ハーズ)」2020年5月号 稲葉俊郎『いただきますの前の5秒だけでも』(光文社、2020年4月12日)
- ・「アロマトピア(aromatopia)」No.159 2020/4月号(vol.29/No.2):特集『自然療法とツーリズム』:稲葉俊郎「未来の医療と健康の場 ～生活の日常と旅の非日常」(フレグランスジャーナル社、2020年4月25日)
- ・Discover Japan (2020年6月号):「緊急特集 おうち時間。」「100年後に読んでほしいエッセイ集」:稲葉俊郎「兼業医療家になる」(ディスカバー・ジャパン、2020年5月7日)
- ・FRaU No.538 (2020年08月号)「Hello Nippon! 日本からはじまる、SDGs」:『ポストコロナの世界を考える、5つのダイアログ』:稲葉俊郎 x 小林エリカ「コロナの後の世界の話をしよう」(講談社、2020年7月29日)
- ・BRUTUS No.922 (2020年9月1日号)特集「お金の、答え。」お金、ちゃんと使えてる? 「私のお金ルール」稲葉俊郎(PDF)(講談社、2020年8月15日)
- ・TRANSIT49号「美しき消えゆく世界への旅」:稲葉俊郎「旅支度 STARTING POINT」(euphoria factory、2020年9月19日)
- ・看護管理(2020年10月号)『アートとケア アール・ブリュットから受けとるもの(10)』稲葉俊郎「コンクリートに咲く花」(医学書院、2020年9月28日)
- ・tempo2 「虚と実」:稲葉俊郎「人生の虚と実」(Fujitsu Global、2021年2月18日)
- ・「コトノネ」vol.38:ぶっちゃけインタビュー 34 稲葉俊郎「あわい」でゆれる(株式会社コトノネ生活、2021年5月20日)
- ・軽井沢高原文庫通信 第97号:「屋根のない病院」を受け継ぐ大河の一滴として(稲葉俊郎)(軽井沢高原文庫、2021年7月5日)
- ・月刊「こどものとも」2021年8月号(福音館):「絵本のことば 言葉のえほん」:稲葉俊郎(福音館、2021年7月5日)
- ・東京保険医協会 診療研究第570号 特集「芸術・平和・医療 子どものこころ」:稲葉俊郎『コロナ禍で見つめ直す暮らしと健康と芸術』(東京保険医協会、2021年8月10日)
- ・「aromatopia」(No168 2021年10月号)対談「西洋医学と自然療法の共存を目指して」:稲葉俊郎 x 藤田円(P)(フレグランスジャーナル社、2021年10月25日)
- ・「mahora 第4号」:稲葉俊郎「いのちといのちの、これから」(八耀堂、2021年12月22日)
- ・「美術手帖」2022年2月:特集 ケアの思想とアート:稲葉俊郎×田中みゆき「アートにみるケア、ケアにみる創造性」(美術手帖、2022年1月7日)

## 一般書 (その他)

- ・EGO20 EGO-WRAPPIN' 1996-2016:鼎談:中納良恵×稲葉俊郎×坂口恭平「創作の秘密に近

いところ 芸術・夢・医療」(リットーミュージック、2016年)

・フーズスケープ 私たちは食べものでできている：アーツ前橋 同展覧会図録(アノニマ・スタジオ、2016年)

・張明亮(著),峨眉養生文化研修院(編集),山元啓子(翻訳)「五臓の音符気の音楽療法 CD付き(実践講座)」解説：稲葉俊郎(ビイング・ネット・プレス、2018年12月3日)

・稲葉俊郎『病の神様の微笑』(図録巻頭テキスト『兵庫県立横尾救急病院展』横尾忠則現代美術館)(2020年1月)

・「ESDがグローバル社会の未来を拓く:SDGsの実現をめざして」:第4部 生命・自然との調和編:第15章『「地球の健康学」としてのSDGs』(稲葉俊郎)(ミネルヴァ書房、2020年9月29日)

・「世界をこの眼で見ぬきたい。:岡本太郎と語りあう12人」平野暁臣(編集)(対談者:赤坂憲雄、一青窈、五十嵐太郎、森川嘉一郎、竹田鎮三郎、西谷修、カータン、稲葉俊郎、関根光才、COMA-CHI、JEMAPUR、安藤礼二)(小学館クリエイティブ、2020年10月28日)

・「暮らしのなかのSDGs—今と未来をつなげるものさし—」:稲葉俊郎「地球の健康学としてのSDGs」(アノニマ・スタジオ、2020年12月21日)

・「身心変容の医療/表現~近代と伝統先端科学と古代シャーマニズムを結ぶ身体と心の全体性(身心変容技法シリーズ3)」:稲葉俊郎「未来の医療と身心変容」日本最古の医書『医心方』に見る身心変容「体育と教育と医療」(日本能率協会マネジメントセンター、2021年3月23日):

・渡辺真也「ポニョ CODE:『崖の上のポニョ』に隠された宮崎駿の暗号」:稲葉俊郎 帯コメント(三元社、2021年12月8日)

・映画「帆花」劇場版パンフレット:稲葉俊郎「日々人生」(2022年1月2日)

## メディア出演

### <TV/radio>

・ハートネットTV「心悩むあなたへ 古の東洋医学からのヒント」(NHK、2016年5月11日、再放送2016年5月18日、アンコール放送2016年9月21日・9月28日)

・SWITCHインタビュー達人達「大友良英×稲葉俊郎」(NHK、2017年3月11日)

・「Fresh Faces #151」(BS朝日、2018年)

・Saraya Enjoy ナチュラルスタイル(ナビゲーター:野村友里)(J-WAVE、2017年2月5日、2月12日、12月24日)

・Love Our Bay (bayfm、2018/3/19-3/22)

・Tokyo Midtown presents The Lifestyle MUSEUM vol.598(ピーター・バラカン)(TOKYO FM、2019年10月11日)

・「AI美空ひばりあなたはどう思いますか」(NHK総合、2020年3月20日)(【ゲスト】東京

大学大学院教授…松尾豊, ミッツ・マングローブ, 藤井隆, 【出演】 ビートたけし, つんく♂, 山口一郎, 大友良英, 渋谷慶一郎, 稲葉俊郎, 水野祐)

- ・ TRUME TIME AND TIDE (市川紗椰) (J-WAVE、2020年8月22日) (Web)
- ・ 日曜美術館「カラフル! 多様性をめぐる冒険」(NHKEテレ、2020年8月23日+8月30日(再放送)) (【出演】 奥貫薫, りゅうちえる, 稲葉俊郎, 【司会】 小野正嗣) (参考「あるがままのアート人知れず表現し続ける者たち」東京藝術大学大学美術館)
- ・ 日曜美術館アートシーン: 展覧会情報「山形ビエンナーレ 2020」(NHKEテレ、2020年9月13日)
- ・ 今こそ永遠 (メインパーソナリティー: 稲葉俊郎) (FMkaruizawa、毎月最終日曜日: 2021年1月 - 12月)

### <新聞>

- ・ 『融合するアートと医療 20年、新生 山形ビエンナーレ』(山形新聞、2019年12月26日)
- ・ 『「ビエンナーレ」芸術監督に医師』(朝日新聞、2020年1月5日) (PDF)
- ・ ひととき『人と健康 調和を求めて』(信濃毎日新聞、2020年3月17日) (PDF)
- ・ 書評欄: 稲葉俊郎「いのちは のちの いのちへ」(評者: 山田敏夫) (熊本日日新聞、2020年9月6日)
- ・ 『差別や分断 「無理解を超える力」 自由な聖域、共に作りたい』(山形ビエンナーレ芸術監督・稲葉俊郎) (毎日新聞、2020年9月23日)
- ・ 「芸術と生きること つながり考える」(医師稲葉さんと作家坂口さん 「山形ビエンナーレ」でトーク (熊本日日新聞、2020年10月7日)
- ・ 稲葉俊郎「対話により命喜ぶ場を創造」(熊本日日新聞文化欄、2020年12月28日)
- ・ 『読書委員が選ぶ 2020年』: 稲葉俊郎「いのちは のちの いのちへ」(選者: 通崎睦美 (木琴奏者)) (読売新聞、2020年12月27日)
- ・ 東大校友会ニュース No.40: 稲葉俊郎「次世代に向けたメッセージ ~未来を描く処方箋~」(東大校友会ニュース、2021年3月18日)
- ・ 鉄門だより (2021年4月号 (第785号)) 稲葉俊郎 (2004卒) 「軽井沢から新しい風を」(鉄門だより、2021年4月10日)

### 講演 (一部抜粋)

- ・ MANSAI 解体新書その式拾六 (芸術監督・野村萬斎、音楽家・大友良英、医師・稲葉俊郎鼎談) (世田谷パブリックシアター、2016年7月30日)
- ・ ヨコハマトリエンナーレ 2017『島と星座とガラパゴス』 対談「島とオルタナティブ: 歴史・社会、医療、アート」(ヨコハマラウンド) (マップオフィス(アーティスト)、稲葉俊郎)

郎(医師)、吉見俊哉(社会学・カルチュラルスタディーズ研究者、東京大学大学院教授)(横浜美術館レクチャーホール、2017年)

・アイデア - 時代を切り開く者たちの良心 - 対談 宮前義之 (ISSEY MIYAKE デザイナー)、田根剛 (建築家)、松本紹圭 (僧侶)、紫舟 (書家) (六本木ヒルズ アカデミーヒルズ、2017年)

・ボイス・ワークショップ - 声をだす、声をきく - UA×稲葉俊郎 (アンサンブルズ東京、2017年10月14日)

・アンサンブルズ東京 (UA + 稲葉俊郎、大友良英スペシャルビッグバンド、坂本美雨とCANTUS、芳垣安洋と Orquesta Nudge! Nudge!) (アンサンブルズ東京、2017年10月15日) (東京タワー、アーツカウンシル東京)

・絵を描き、山に登る～池田学の作品から考える美術と身体と自然の関係～ (「action publishing」池田学×稲葉俊郎) (銀座蔦屋書店、2017年)

・「食の鼓動——innereatrip」@スパイラルガーデン(スパイラル 1F) 、1 朗読「言霊」稲葉俊郎+永積タカシ(ハナレグミ) (2017年12月28日)、2 献歌「呼吸」稲葉俊郎+UA (2017年12月29日)、3 振動「リズム」稲葉俊郎+熊谷和徳 (2017年12月30日)

・『猪熊弦一郎のおもちや箱』刊行+猪熊弦一郎展「猫たち」開催記念イベント&ライブ：坂本美雨+稲葉俊郎 (銀座蔦屋書店、2018年4月11日)

・『多摩美術大芸術学科・21世紀文化論』「生きること 芸術と医療」(多摩美術大八王子キャンパス、2018年5月26日)

・TEDxKumamoto (熊本市健軍文化ホール、2018年9月30日)

・開館 27 周年記念イベント 「いのくまさんのこと、ミモカのこと」(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOCA)、2018年11月23日)

・シンポジウム「哲学・医学・能 —よく生きるためのまなびとあそび—」山中玲子、山内志朗、稲葉俊郎 (法政大学市ヶ谷キャンパス、2018年11月24日) (主催：野上紀年法政大学能楽研究所「能楽の国際・学際的研究拠点」)

・『#007 eatrip city creatures』「高木正勝×稲葉俊郎」 (Ginza Sony Park、2019年5月1日)、

「稲葉俊郎×大友良英」(Ginza Sony Park、2019年5月8日)

・『MANSAI 〇解体新書その参拾特別版『5W1H』』(芸術監督・野村萬斎+真鍋大度+石橋素 (ライゾマティクスリサーチ) 第二部：トークゲスト 稲葉俊郎) (世田谷パブリックシアター、2019年7月13日)

・熊本「万作・萬斎の会」狂言のおはなし&トーク (稲葉俊郎 野村萬斎) (熊本県立劇場、2019年9月21日)

・養老孟司×稲葉俊郎「いのちのきほんを捉えなおす」(青山ブックセンター本店、2020年1月25日)

・『みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ 2020』芸術監督

▲医学生 x 芸工生と美大生オンラインミーティング #1 (2020年9月5日、9月12日、

9月19日、9月26日)

▲オープニングトーク根岸吉太郎、中山ダイスケ、稲葉俊郎 (2020年9月5日)

▲稲葉俊郎×茂木綾子×遠藤綾トーク子どもと共に暮らしの未来を探って (2020年9月5日)

▲稲葉俊郎×高野寛トーク観天望希 -未来への希望- (2020年9月5日)

▲稲葉俊郎×akiko トーク音のかたち、いのちの音 (2020年9月6日)

▲AI 美空ひばりがつなぐいのちなるもの ~時間・距離・生死を超えて~井上雄支、稲葉俊郎、江間有沙、池谷駿一 (2020年9月6日)

▲『ケアの循環』-学生と共に似顔絵セラピーで医療従事者の方に感謝の気持ちを伝える-村岡ケンイチ (2020年9月18日)

▲稲葉俊郎×上野雄次×岩井天志トーク花のいのち (2020年9月18日)

▲藻が湖大学トーク編ー絵本を通して〈いのちの形〉を考えるー稲葉俊郎、満名要大、三瀬夏之介 (2020年9月20日)

▲稲葉俊郎×坂口恭平トーク自分の薬をつくる (2020年9月22日)

▲いのちの庭遠野未来、稲葉俊郎、岩井天志、馬場正尊 (2020年9月22日)

▲稲葉俊郎×岩崎航トーク生きることと芸術 (2020年9月25日)

▲GOMA×稲葉俊郎×岩井天志 トーク 祈り 2020 (2020年9月27日)

▲藻が湖大学クロージングトーク三瀬夏之介、宮本晶朗、稲葉俊郎、他 (2020年9月27日)

・「にぎやか茶話会 メディアの庭で」串田和美、稲葉俊郎、高橋悠治、山田うん、菊池徹 (信毎メディアガーデン、2020年11月11日)

・健康かるいざわ 21「健康フォーラム」『からだところの健康学』稲葉俊郎 (軽井沢中央公民館、2020年12月4日)

・稲葉俊郎 x 長井朋子 対談：長井朋子個展『天国のように淡くまぶしい。そして』(豊川市桜ヶ丘ミュージアム、2020年12月12日)

・軽井沢町立図書館 文化講座 講演「いのちを呼びさますものー医療と芸術ー」(軽井沢中央公民館、2020年12月19日)

・甲野善紀 (武術研究者) x 稲葉俊郎 (医師)『未来の子どもたちへのメッセージ (これからの教育実践ゼミクリスマス特別編)』(2020年12月26日)

・「2021年に「翁」を考えるー加賀宝生の歴史を出発点に」：宝生和英 (能楽師、宝生流20世宗家)、西村聡 (金沢大学名誉教授)、稲葉俊郎 (医師)、原瑠璃彦 (金沢能楽美術館、2021年1月6日) (翁プロジェクト)

・日本抗加齢医学会 第12回泌尿器抗加齢研究会 特別講演「いのちは のちの いのちへー新しい医療のかたちー」(2021年2月28日)

・第26回日本緩和医療学会学術大会『招待講演5：くらやみ中の一条の光、今、ここでつなぐ、いのちを呼びさますもの』(パシフィコ横浜、2021年6月18日)

- ・ゆめはくカフェ：「医食同源」稲葉俊郎 x 大江健太（山口ゆめ回廊博覧会、2021年7月10日）
- ・＜北陸工芸の祭典 GO FOR KOGEI 2021＞：[特別展Ⅱ] 工芸×Design 13人のディレクターが描く工芸のある暮らしの姿：稲葉俊郎×シマタニ昇龍工房（Noetica、2021年9月10日-10月24日）

＜道の学校＞慶應大学 SDM ヒューマンラボ（稲葉俊郎、前野隆司、針谷和昌（慶應 SDM））

- ・第1回：藤平信一（心身統一合気道会会長）、佐々木隆道氏（プロラグビー選手）（2017年2月28日）
- ・第2回：武田宗典（能楽師 観世流シテ方）、小野澤宏時（プロラグビー選手）（2017年4月6日）
- ・第3回：稲葉俊郎（医師）（2017年6月15日）
- ・第4回：水鳥寿思（体操/アテネオリンピック団体金メダリスト/リオデジャネイロオリンピック団体金監督）、矢田部英正（武蔵野身体研究所）（2017年8月1日）
- ・第5回：田島和枝（雅楽、笙（しょう）、正倉院復元楽器・竽（う）演奏家）、本郷幸子（ヴァイオリスト、上野学園大学音楽学部音楽学科非常勤講師）（2017年10月10日）
- ・第6回：ヨーコ・ゼッターランド（バレーボールバルセロナ五輪銅メダリスト）、藤田義行（鍼灸師、藤田治療院院長、プロスポーツトレーナー）（2017年12月5日）
- ・第7回：藤田一照（曹洞宗僧侶）、甲野善紀（古武術研究家）（2018年2月6日）
- ・第8回：稲葉俊郎（医師）、針谷和昌（慶應 SDM）、前野隆司（慶應 SDM）（2018年4月17日）
- ・第9回：藤田一照（曹洞宗僧侶）（2018年6月5日）
- ・第10回：高橋有紀子（バレー/ビーチバレー4大会連続オリンピック入賞）（2018年8月28日）
- ・第11回：星野文紘羽黒山伏（修験道）（2018年10月16日）
- ・第12回：雑誌社「秘伝」編集部、雑誌社「サンガ」編集部（2018年12月11日）
- ・第13回：桐崎鶴女（地唄、地唄舞）、平賀梨沙子（フラダンサー）（2019年3月12日）
- ・第14回：坂口行成龍鳳（居合道、江戸無外流宗家）（2019年5月14日）
- ・第15回：谷本歩実（柔道家、アテネ 2004&北京 2008 オリンピック金メダル）（2019年7月9日）
- ・第16回：稲葉俊郎（医師）、前野隆司（慶應 SDM）（2019年9月10日）
- ・第17回：都一中（12代目）（一中節宗家、三味線）（2019年11月10日）
- ・第18回：石川勝之（ブレイクダンス、一般社団法人アーバンスポーツ大会組織委員会理事）（2020年1月14日）